

もやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

蔵通信

十二号
2008. 4

発行：絵金蔵運営委員会
発行日：2008年4月1日
〒781-5310
高知県香南市赤岡町538
Tel.Fax 0887-57-7117
ekingura@mxi.netwave.or.jp
http://www.ekingura.com/



シリーズ 絵金百話

第十一話 大泥棒見参！



INFORMATION

蔵でジャズ

カウ
ター
あります！

アメリカ屈指のジャズビッグバンド、デューク・エリントン楽団で活躍するピアノスト、三上クニが率いる「WE THREE TRIO」のアンサンブルコンサートがこの度絵金蔵で実現します！ 彼らの華麗なテクニクと繊細な表現力はきっとあなたを虜にするはず！ お酒を飲みながら、和の空間で本場のジャズをぜひお楽しみください。

日程 六月九日(月)
場所 絵金蔵
開演 午後七時(開場六時半)
入場料 三〇〇〇円(限定一〇〇席)
主催 絵金蔵運営委員会

◎ チケットは前売のみ。お求めは絵金蔵にて。
電話、Eメールでのご予約も承ります。



☆第五十二回 どろめ祭

日時 四月二十七日(日) 午前十時〜午後三時
場所 赤岡町海浜
駐車場 商工会館・新、旧赤岡漁港船溜り周辺ほか
電話 香南市商工会(〇八八七-五四-三〇一四)
11:40 漁船パレード
12:00 「白浪五人男」上演
13:10 大杯飲み干し大会
14:40 一江ウタカライブ 他、催し多数

＊小雨決行

編集後記

四月二十七日は「どろめ祭り」が行われました。赤岡の浜辺で町をあげての大会。一升酒をいかに早く、美しく飲み干せるかを競う「一升早飲み大会」がメインイベントで、それゆえ奇祭とも呼ばれる祭りです。ドロマはカタクチイワシの稚魚で四月が旬。茹でるとチリメンジャコになります。高知では酒の肴として生でもいただきます。酒好きには嬉しい祭りですが、浜辺を侮ることなかれ！砂浜は思う以上に照り返しが強く、酔いが回るのが早い。ため、終盤には砂浜に倒れこんでいる酔っ払いもあらはら。まるで水揚げされた鮭のようにも。お酒が好きな方はもちろん、鮭の光景を見てみたい方(?)も、ぜひお越しください！

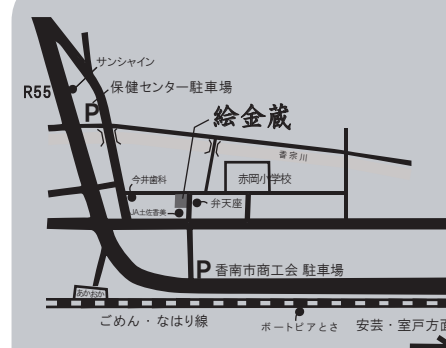
(蔵長・横田 恵)

今回とりあげた「木下陰狭間合戦」壬生村の段は、初演以降、人形浄瑠璃としての上演は大正九年を最後に途絶え、廃曲寸前であったところ、平成十七年五月九代目竹本綱太夫の浄瑠璃と鶴澤清二郎の三味線によってよみがえり、素浄瑠璃で上演されました。小冬のかわいさ、父の悲しき、豪気な五右衛門と手下たちのやりとり。荒唐無稽なストーリーのことも忘れ、音だけが作り出す情景の世界にどっぷりと引き込まれてしまいます。本作を録音したCDがコロムビアより発売されています。

(副蔵長・福原僚子)

〔絵金蔵〕

開館時間 午前9時〜午後5時
(入館は午後4時半まで)
観覧料 大人500円、高校生300円
小・中学生150円
(15名以上の団体は各50円引き)
休館日 毎週月曜日
(月曜が祝日の場合は火曜)
12月29日〜1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵(通称・絵金)。彼は土佐各地の祭礼に多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

絵金蔵の三つの使命

年に一度 絵金の文化を
：絵金の文化を
：次世代へ
：縁結び
：地域を超えて
：世代を超えて



絵金の時代

IV 芝居絵が彩る土佐の祭礼

赤岡以外にも土佐では、絵金や彼に代表される町絵師たちによって描かれた芝居絵を夏祭に飾る風習があり、訪れる人々の目を楽しませています。
ここでは各地に広がるこうした祭礼の一部をご紹介します。



南国市稲生・河伯神社祭礼（2006.7.14 撮影）
社殿のそばにある土俵の脇に台提灯がたてられ、芝居絵屏風3点が並ぶ。宵闇の中、裸電球の下で子供たちが奉納相撲を取る。



高知市朝倉・朝倉神社祭礼（2007.7.24 撮影）
朝倉神社の本殿につづく直線の参道に、山門のように組まれた台提灯が並び、人々はその下をくぐりながら参詣する。台提灯は6台、合計24点の芝居絵が両面に組み込まれる。



安芸市・川北大師堂祭礼（2007.9.1 撮影）
大師堂の脇に絵馬台をたて、芝居絵屏風5点と「仮名手本忠臣蔵」の12点続きの枠張の芝居絵がはめ込まれる。



絵金百話

第十一話 大泥棒見参！

このしたかげはざまがっせん いしかわごえもん 木下蔭狭間合戦 石川五右衛門

< 概要 >

「木下蔭狭間合戦」は寛政元年（1789）2月、全十段からなる時代物の人形浄瑠璃として大阪・大西芝居（豊竹此吉座）で初演されました。さらに、同年9月から10月にかけて、大阪・中山福蔵座（角）にて歌舞伎で上演されています。作者は若竹笛躬、近松余七（十返舎一九）*、並木千柳。この作品は、將軍足利義輝を滅ぼそうと画策する管領三好長慶と美濃の齊藤道三・義龍親子の陰謀を、尾張の小田春永（織田信長）が阻止するという構想のもと、春永家臣の此下当吉（豊臣秀吉）と石川五右衛門との出会い、対立をからませたもので、いわゆる「太閤記物」の一つに数えられます。

本作では日吉丸（後の此下当吉）と友市（後の石川五右衛門）が犀が崖の来作という盗賊のもとで少年時代を共に過したという設定になっています。その十数年後、当吉は尾張の小田家に仕え、その知略によって小田方を勝利へと導きます。

一方、盗賊となった石川五右衛門は故郷に帰り、義妹小冬の難儀を救いますが、そこで自分が父治右衛門の子ではなく、父が殺した大家の女の落胤であったことを知ります。その出自を利用し、天子にまでのぼりつめようと野望に燃える五右衛門は、子分が奪ってきた公家装束に身を装い、足利將軍義輝の館に乗り込みますが、知略にたけた当吉に見破られてしまうという結末。

石川五右衛門は安土・桃山時代の盗賊の頭領で『言経卿記』『豊臣秀吉譜』等に名前が見え、彼のエピソードは元禄以前より古浄瑠璃で劇化されました。正徳2年（1712）には近松門左衛門『傾城吉岡染』によって釜ゆでの刑にされる件りが描かれ、以後『釜淵双級巴』（元文2年=1737）、『金門五山桐』（安永7年=1778）ほか、次々と「五右衛門物」と呼ばれる作品が上演されます。当初はお家騒動のなかで苦心する義賊としての性格が強かったものの、しだいに国家転覆を狙う大盗賊としての巨大で奇怪なイメージがつくられていきます。

赤岡に伝わる絵金の屏風絵はこの五右衛門を中心に大きく描きながら、野卑な手下たちに囲まれ、のちの結末を暗示するような滑稽な姿に描かれています。同じ場面を描いた白描画、高知市鴨部や香美市土佐山田町に伝わる屏風絵とともに、じっくりとお楽しみください。

*1 十返舎 一九（1765－1831）は滑稽本『東海道中膝栗毛』の作者として知られるが、浄瑠璃本の作者としても活躍。本名、重田貞一。別名、駿河屋藤兵衛、近松余七。



釜煎りの刑に処される石川五右衛門。
『釜淵双級巴』は元文2年(1737)大阪・
豊竹座で人形浄瑠璃として初演されまし
た。ここでは実の父に義理立てした五右
衛門が、誤って継母を殺してしまった息
子五郎市とともに処刑されるというストー
リーになっています。

釜淵双級巴 石川五右衛門 七条河原釜煎りの場
二曲一隻屏風／紙本著色／133.5×138.0 cm
高知市鴨部・郡頭神社奉納保存会所蔵

石川五右衛門と手下のスケッチ。
絵金が弟子たちに与えた画手本の
うちのひとつと考えられます。

目や鼻などのパーツ、指一本一
本の動きまで、前頁赤岡町本町二
区の芝居絵と全く同じ形をしており、
絵金が直弟子たちに描法を細かく指
導していたことを伺わせます。



木下陰狭間合戦 石川五右衛門
紙本墨画／香我美町・吉川登志之氏所蔵

義妹を引き取りにきた傾城屋にガバリと
二百両を投げ渡す五右衛門。本作は
土佐山田町に伝わる屏風絵ですが、
全く同じ構図の白描画が香我美町の
吉川家に伝えられています。

木下陰狭間合戦 石川五右衛門
二曲一隻屏風／紙本著色／156.0×156.0 cm
香美市土佐山田町・久次地区所蔵



木下陰狭間合戦 石川五右衛門
紙本墨画／香我美町・吉川登志之氏所蔵



前頁屏風絵の前の場面。娘を誤っ
て刺し、驚き嘆く治左衛門に対し、「親
父殿、こりやもう所詮助からぬはいの」
とあきらめきった様子の五右衛門。

木下陰狭間合戦 石川五右衛門
紙本墨画／香我美町・吉川登志之氏所蔵

素描

石川五右衛門

■ お頭ど～の～。

「ドレ、^{ひげ}鬚でも剃つてお公家様になつてみよふかい」という五右衛門の言葉に「アイ、ようごんす」「ならんせ、ならんせ!」と色めきたち、いそいそと身支度を手伝う手下たち。一方、画面左手には、原作にはない、こっそりと食べ物にありつく手下の姿も描かれています。



■ 惜しやつぼみを散らせしは…

遊女に売られる身の上からやっ
と逃れたと思ったら、盲目の父
に誤って殺されてしまう小冬。
虫の息のなか父の身を案じ、
「コレ兄様、父様ともふせり合
はずと仲良ふして下さんせ」と
言い残し、死んでゆきます。

■ コリヤヤイ、 どうぞ真人間になってくれ。

娘の死に半狂乱になりながらも、
五右衛門の悪だくみを必死に止め
ようとする盲目の治右衛門。「今
でも根性直すなら、氣遣ひするな、
その罪はこの親が引き受けて、名
乗って出ても助けて見せふ。子の
為に死ぬる命、^{ごくもんはりつけいと}獄門磔厭ひはせぬ。
真人間になってくれ。」

■ 日本国中の金は、皆オレがもの！

自分の人相書を出されても、悪びれもせず「そりや俺が
事ちや」といつてのける石川五右衛門。命を懸けて改心
を迫る父の言葉も、全く意に介しません。それどころか
将軍から大金をだましとるというさらに大それた野望を
持ち、公家に化けるのに余念がない様子…

実録！石川五右衛門

石川五右衛門は文禄3年(1594)
8月23日、京・三条河原で釜煎り
の刑に処せられました。スペインの
貿易商アピラ・ヒロンの『日本王国
記』は、五右衛門と家族約10名が
油で煮られたといい、『^{ごきつねきょうき}言経卿記』
では「盗人スリ十人子一人釜にて
煮らる、同類十九人磔に懸之」と
伝えています。

(『歌舞伎登場人物事典』)

救さぬ親は恩愛に、悲しみ怒り獅子形の、石の
帯仕にまた取り付く。…コリヤヤイコリヤ、そ
の様な横道な事してそれが真直に行かふかやい

4月の蔵の穴で本物を公開中！

〔参考文献〕
『歌舞伎事典』平凡社 1993年4月
『歌舞伎登場人物事典』白水社 2006年5月
『絵金展 土佐の芝居絵と絵師金蔵』高知県立美術館 1996年
『絵金蔵収蔵品目録』赤岡町 2005年2月
近森敏夫『絵金読本』香南市商工水産課 2006年3月 改訂版

絵金を読む。

このした かげ はざま がっせん いしかわ ご え も ん

木下蔭狭間合戦 石川五右衛門

二曲一隻屏風/紙本著色/176.0×161.0cm
赤岡町本町二区所蔵

— あらすじ —

^{みぶむら}壬生村の^{じえもん}治右衛門は、他人の金を持ち
逃げした息子^{ともいち}友市のため苦労を重ね、盲
目となり貧しく暮らしている。

借金返済のため、治右衛門が^{こぶゆ}妹娘小冬
を遊郭に売る約束をしたところへ、11年
ぶりに息子が帰ってくる。友市は遊女屋
に二百両を渡し妹を救う。息子が余りの
大金を持っていることに不審を抱いた治
右衛門が問いただすと友市は自分がお尋
ね者の大盗賊石川五右衛門であることを
明かす。

治右衛門は刀を取り出し、自分の命に
代えてもと必死にいさめるが五右衛門は
聞き入れず、揉み合ううちに誤って娘小
冬を刺してしまう。治右衛門は嘆き悲し
みながら、昔たまたま出会った身重の女
が癪に苦しむのを介抱した際、ふとした
出来心で女から金を奪ったうえ、見とが
められまいと殺してしまったこと、その
傷口から生まれた子を、せめてもの罪滅
ぼしに自分の子として大事に育てた、そ
の子が五右衛門であることを告白する。

五右衛門は治右衛門より渡された実母
の形見の系図書から、自分が九州・大内
氏の落胤であることを知り、天子となる
野望を抱く。必死に止める父を振り切り
五右衛門は手下たちと共に勅使を装う公
家の姿となって、将軍足利家へと向かう。

石川五右衛門 主要登場人物

